

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「母子保健のための医療機器整備計画」  
機材供与式典

2023年1月23日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「母子保健のための医療機器整備計画」の機材供与式典が実施され、奥山駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、ヨルダン国内10県で計19の母子保健クリニックを運営し、低所得者層の女性及び家族を対象に、低額な医療費で母子保健サービス及び家族計画の啓発・カウンセリングを実施している「ヨルダン家族計画・養護協会」に対して、医療器材（超音波検査機器、蒸気滅菌機）を供与することにより、同協会クリニックを利用する難民を含む脆弱な女性がより精度の高い妊産婦検診を受診することが可能となり、生殖に関する健康及び母子健康サービスの向上に寄与することを目的としています。

同式典には、協会職員・関係者が出席し、アベッド・マンシー同協会取締役会長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、母子健康サービスへのアクセスが著しく制限されている妊産婦への支援は喫緊の課題であり、本支援が同クリニックを利用する妊産婦に対する母子健康サービスの一助となり、脆弱な立場にある妊産婦の母子保健の状況改善に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計156件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

協会関係者との写真



協会本部の視察



タバブルール診療所の視察



記念写真

